

断熱性能の区分を評価方法基準における省エネ対策等級3・4とする場合には、別途結露防止対策と開口部の日射遮蔽対策が

省エネ住宅ポイント対象住宅証明 設計内容説明書(トップランナー基準) <戸建 木造/鉄骨造住宅>
 の欄を設計者が記入のこと

建築物の名称				
地域区分	住宅の種類	木造軸組工法	木造枠組壁工法	鉄骨造
性能項目等	確認項目	設計内容説明欄		
		項目	設計内容	記載図書
トップランナー基準	判断等の基準	判断等の基準 いずれか一つを選択	算定用WEBプログラムによる 算定用シートによる 「住宅事業建築主判断の基準」に適合する代表的な仕様 確認シート(戸建住宅用)による	
	断熱性能区分等	断熱性能区分等 いずれか一つを選択	(ア) () 強化型の別を選択 (イ) () 強化型の別を選択 (ウ) () 強化型の別を選択 (エ) () 強化型の別を選択 (オ) () 強化型の別を選択 算定用プログラム Q値(熱損失係数)入力 算定用プログラム U値(熱貫流率)入力 / 開口部 U値 算定用プログラム R値(熱抵抗値)入力 / 開口部 U値	
	躯体の断熱性能等	躯体の断熱 いずれか一つを選択	熱損失係数(Q値) 熱貫流率(U値) 熱抵抗値(R値) 外皮平均熱貫流率(UA値) 選択した基準の番号が記載された項目に入力してください	
	熱損失係数 外皮平均熱貫流率等		熱損失係数(Q値) 設計値 () W/m ² K 外皮平均熱貫流率(UA値) 設計値 () W/m ² K 開口部の熱貫流率 仕様U値 計算U値 併用	平面図 矩計図 仕様書 算定用シート 算定用出力表
	各部の断熱材の種類と厚さ又は熱抵抗値もしくは各部の熱貫流率		・断熱材の施工方法 充填断熱工法 外張断熱工法 内張断熱工法 ・屋根 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K ・天井 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K ・壁 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K ・床 外気に接する部分 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K その他の部分 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K ・土間床等の外周部 外気に接する部分 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K その他の部分 () mm 断熱材の熱抵抗値 () m ² ·K/W 部位の熱貫流率 () W/m ² ·K 玄関、勝手口等において4m ² 程度のため断熱構造化しない 玄関、勝手口等の面積が玄関のある階の床面積の1割以下 かつ 土間床等の裏の断熱材の熱抵抗値 0.6m ² ·K/W以上(旧 、 、 地域限定) 浴室下部を断熱措置の上、壁・床等との取合部に気流止めを設置し、床下換気措置	「住宅事業建築主判断の基準」に適合する代表的な仕様 確認シート(戸建住宅用) 計算U値計算書
	注) 鉄骨造における外張断熱工法及び内張断熱工法以外の場合には別途お問合せ下さい			

最下階の床すべてが基礎断熱工法の場合、算定用プログラムおよび算定用シートの断熱性能区分は、R値・U値での検討は不可となっております。

トップランナー基準において、次世代省エネ基準で定められている「緩和規定」を使うことはできませんのでご注意ください。

緩和規定：2%緩和、4%緩和、断熱抵抗値の緩和規定

ただし、品確法に基づく省エネルギー対策等級の等級3(結露防止対策、開口部の日射遮蔽対策を含む)の場合には、緩和規定を適用することができます。この場合、専用の設計内容説明書での申請が必要です。別途お問い合わせください。

省エネ住宅ポイント対象住宅証明 設計内容説明書(トップランナー基準) <戸建 木造/鉄骨造住宅>
 の欄を設計者が記入のこと

建築物の名称																											
地域区分	住宅の種類	木造軸組工法	木造枠組壁工法	鉄骨造																							
性能項目等	確認項目	設計内容説明欄																									
		項目	設計内容	記載図書																							
トップランナー基準	開口部の断熱性能等	熱貫流率(U値)	・ 熱貫流率(U値) (<input type="text"/> W/m ² K) 注)全方位で最も厳しい値を記入 <input type="text"/> 仕様U値 <input type="text"/> 計算U値 <input type="text"/> 併用	平面図 矩計図																							
	の いずれかに記入 躯体の断熱で「熱損失係数(Q値)」を選択した場合は記入不要	断熱仕様	・ 開口部の建具等の仕様(断熱対策) <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具種別</th> <th>建具の構造</th> <th>ガラス中央部の熱貫流率(U値)</th> <th>ガラスの組合せ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table>		建具種別	建具の構造	ガラス中央部の熱貫流率(U値)	ガラスの組合せ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
建具種別	建具の構造	ガラス中央部の熱貫流率(U値)	ガラスの組合せ																								
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																								
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																								
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																								
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																								
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																								
8地域かつ断熱性能区分(オ)を選択の場合のみ	夏期日射取得係数	・ 夏期日射取得係数(μ値) 設計値(<input type="text"/>)																									
	夏期日射侵入率(値)	・ 夏期日射侵入率(値) <input type="text"/> 面積加重平均した値が、住宅全体で0.30以下である 設計値(<input type="text"/>)																									
	の いずれかに記入	建具等の基準(日射侵入対策)	・ 開口部等の建具等の仕様(日射侵入対策) <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガラスの仕様</th> <th>付属部材</th> <th>ひさし、軒等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通単板ガラス</td> <td>外付けブラインド</td> <td>なし 4</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(2種)</td> <td>レースカーテン 2</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(3種)</td> <td>-</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(3種)</td> <td>レースカーテン 2</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(2種)</td> <td>外付けブラインド</td> <td>なし 4</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(3種)</td> <td>内付けブラインド 3</td> <td>なし 4</td> </tr> <tr> <td>熱線反射ガラス(3種)</td> <td>外付けブラインド</td> <td>なし 4</td> </tr> </tbody> </table> 2: 内付けブラインド、外付けブラインド、障子を含む 3: 外付けブラインド、障子を含む 4: ひさし、軒等ありの場合を含む オーバーハング型日除けで東南から南を経て南西までの方向に設置され、外壁からの出寸法がその下端から窓下端までの高さの0.3倍以上のものをいう		ガラスの仕様	付属部材	ひさし、軒等	普通単板ガラス	外付けブラインド	なし 4	熱線反射ガラス(2種)	レースカーテン 2	あり	熱線反射ガラス(3種)	-	あり	熱線反射ガラス(3種)	レースカーテン 2	あり	熱線反射ガラス(2種)	外付けブラインド	なし 4	熱線反射ガラス(3種)	内付けブラインド 3	なし 4	熱線反射ガラス(3種)	外付けブラインド
ガラスの仕様	付属部材	ひさし、軒等																									
普通単板ガラス	外付けブラインド	なし 4																									
熱線反射ガラス(2種)	レースカーテン 2	あり																									
熱線反射ガラス(3種)	-	あり																									
熱線反射ガラス(3種)	レースカーテン 2	あり																									
熱線反射ガラス(2種)	外付けブラインド	なし 4																									
熱線反射ガラス(3種)	内付けブラインド 3	なし 4																									
熱線反射ガラス(3種)	外付けブラインド	なし 4																									
認定書等を活用する場合	種別	型式	認証	特認																							
	認定番号	(<input type="text"/>)																									
				認定書別添																							